

第26回 河童サミット

日本海（大山・隱岐）
（水と自然と文化の調和）

開催 6月8日(土) 9日(日) 10日(月)

主催 河童連邦共和国

河童共和国公報 九千坊

河童九千坊26年(2013)2月28日 第36号



八代 河童伝説の源流

口発行人 河童共和国内閣官房 口入国管理事務局 TEL 866-0893 日本国熊本県八代市海士江町2681-2 田辺方 FAX (0965)32-5788

祝 建国25年

河童共和国熊本大使 吉田 武

おめでとうございます。夫婦では晴れの銀婚式、そうです。私たちは、幸せにも河童と結ばれました。1988年、河童共和国が建国の祝杯を挙げてから意欲的な活動を展開しました。これに刺激を受けて、全国に多くの河童の國が生まれ、河童族が手を繋ぐ河童連邦共和国の輪が出来ました。河童共和国は気鋭の先進国として、特に九州河童サミットを推進するとともに、各地の河童諸国との交流には積極的に参加して、錦上花を添えてきました。これ等の活動の先頭に立つて挺身された初代故串山、二代目故福田、三代田辺大統領に敬意を表します。特に学識、行動力抜群で知名度の高い田辺大統領を誇りに思っています。熊本大使としては、重責に値する実績を残していませんが、来し方を顧みてみます。

一、丸山学氏（当時熊本商大学長、熊本河童族の重鎮・民俗学者）の知遇を得、特に「河童とやまわら」についてご教示をいただきました。

二、中山義崇氏（当時熊本工大学長、河童共和国国民）の知遇を得、大学（現崇城大学）構内の噴水のある庭園で、河童のイベントをやろうという敬意を表します。

ト、台北かつば村とおいてけ堀かつば村の20周年記念行事にご案内いただき、国内はもとより国際的にも絆と輪を更に広げることができました。厚く御礼申し上げます。

本年に入つて早々に、「火の國未来づくりネットワーク・八代地域ブロック」初の交流会や第3回「彦一ゆかりの地をめぐるウォーカラリー」など地元のイベントに参加しました。河童共和国独自の構想としては、四国四万十町の経験に学び、八代を起点に、チエーンソー・アートによる木彫かつばを球磨川流域に設置したい

旧正月もとつに過ぎたのに寒気は依然としてきびしいようです。河童共和国は建国26年目に入りました。

河童共和国首相 萩本美壽

河童渡來の碑を こつこつ清掃

徳渕の北野さん

とか、原発やダムにたよらない自然エネルギーなど、元気印の討論が始まりました。皆さんのお恵も是非お借りしたいと思います。

荒瀬ダム撤去で球磨川に清流が甦りつつあることを河童族は喜んでおります。しかし年末の政権交代で、川辺川ダム復活の動きがまたぞろ浮上します。そうな気配で油断できません。本年も水環境の学習と清流復活の取り組みに微力を尽くす所存です。

ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願ひいたします。



彦一ゆかりの地ウォーキング3丁目
マーチ、九月は日奈久で山頭火・八代・
クなど、著名なウォーキマン



河童九千坊の一行が

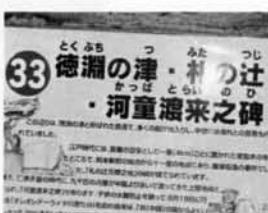
卒業論文「河童伝説考」の指導。三、中村栄美君の慶應義塾大学文学部（美学）の四、メキシコ留学生に河童及び熊本の概要説明。五、河童サミット及び九州河童サミットや河童大使公開講座で「河童の舞」演舞。六、河童共和国熊本迎賓館（画廊喫茶・三点鐘）の「河童の夕べ」出演。七、熊本県芸術祭、熊本市公民館及びコミュニティセンター文化祭指導・出演。八、熊本市における環境問題セミナーへの参加。

河童26年度に入った今年は、閣僚の一員として、アクティブに取り組みたいと思います。

ちで、「河童の舞」を演舞する吉田大使。「河童の舞」は、歌舞伎・能・神楽のエキスを巧みにアレンジして振り付けられた古典芸能。この舞の特徴は、「重厚にして勇壮、静と動の調和」。

（河童連邦共和国文化勲章受章）

写真：阿蘇熊本空港の草原（崇城大学航空部門サイドの草地）で「河童の舞」を演舞する吉田大使。「河童の舞」は、歌舞伎・能・神楽のエキスを巧みにアレンジして振り付けられた古典芸能。この舞の特徴は、「重厚にして勇壮、静と動の調和」。



世代をつなぐ河童の絆



河童とスカイツリーのおいてけぼに全国の河童族代表200名参集

<世代をつなぐ河童の絆>
建国25周年記念・河童サミット東京
主催・河童連邦共和国

2012/06/10

銘酒「千代むすび」で乾杯！



施政方針演説の斎藤大統領

東京で 河童連邦 25周年 サミット

地元墨田区の山崎昇区長（右）
と河童連邦斎藤大統領

墨田親水公園の銘板
「おいてけぼ」の由来

サミット記念のスリーショット
右から林家木久扇さん、大内恭平さん
田辺ユウイ子さん

佐藤館長夫妻
田辺大統領

賢ちゃんの河童ハウス
3千点収蔵

笑点の木久扇師匠も出席

河童族の年次総会を兼ねた全国会議『河童サミット』（河童連邦共和国主催・斎藤哲清大統領、本部東京）が6月9～10の2日間、東京の新名所・スカイツリーの墨田区内で開催され、北は名寄・札幌、南は薩摩川内・八代など全国の河童族代表200名参集、河童共和国から田辺達也大統領（河童連邦名誉顧問）夫妻と檜逸夫東京大使が出席した。

来賓の山崎昇墨田区長は「河童なら、おいてけぼ。タワーなら634m（ムサシ）のスカイツリー」と地元をPR。落語家の林家木久扇師匠はTVの長寿番組「笑点」でおなじみ。祝辞のあと河童のパフォーマンスと小咄で笑いの渦に。記念写真も気軽に応じた。

本会議（河童連邦議会）では斎藤大統領の基調演説、決算・予算案の承認。役員改選に入り、斎藤大統領、田辺宏守事務局長ら現役員（16名）を再任した。

2013年の河童サミットは隠岐・米子の2会場

お楽しみ懇親パーティで披露された四斗樽は、山陰隠岐かっぱ村（岡空春夫村長、千代むすび酒造社長）の贈りもの。来年度サミット開催地に立候補宣言した。

鏡割りとスピーチ（5名）は九州から2名指名された。薩摩川内河童共和国の箱川政己大統領は3年後のサミット開催を表明。河童共和国田辺大統領は第1回河童サミットが25年まえ八代から始まり全国に広がった河童ブームの歴史を語り、感無量の思いを伝えた。

芸達者は和洋万能の関東域がすば抜けていた。懇親会は日本橋かっぱ村・大橋夫妻の軽妙な司会で進行、東京音頭の総踊りで最高潮に達した。豪華景品の当たるジャンケン勝ち抜き遊びもどよめいた。

スカイツリーから賢ちゃんの河童ハウスへ

サミット2日目、オプションツアーは2手（スカイツリーと隅田川遊覧）に分かれて楽しんだ。スカイツリー見学班は、おいてけぼかっぱ村の辻忠城さん（河童連邦副大統領）の先導で「おいてけぼ」ゆかりの親水公園を散策、「都鳥」や「言問い」の在原業平に思いを馳せながら目的地へ。350mの展望デッキから更に450mの天望回廊へ。眼下に都内をじっくり眺望した。

この後、田辺大統領夫妻は江東区の『賢ちゃんの河童ハウス（河童博物館）』を見学。佐藤賢吾館長・美江さん夫妻と歓談した。小規模ながらこつこつ20年、蒐集の成果は中央ならではの珍品揃い。きれいな博物館である。佐藤館長は熊本県和水町出身。



只今！河童（ガラツバ）ドン 坂口拓史

チャーミー2世が我が家にやつて来たのは昨年六月。

純粹八代野良猫の、血統書付きだ。

く、スマートには程遠い。瓜実顔の美形だ。

友人の岡崎浩史君が、四匹居た仔猫のなかから選んでくれた。模様は猪の子、ウリ坊だ。

背に縦三本筋が走り、胸部につむじがある。

「これはテカくなる。いい手足を持つとる。そ

れに脚が長い。オルが好みタイ」

この猫、いつの間にかチャーミー2世を襲名し、我が家の主役になつた。

「田辺さん、この猫は只者じゃなかですバイ。

八代河童が、猫被つとつた。胡瓜はザクザク

受け入れ、感謝されていて。

おいてけ堀かっぱ村は関東かつ

ぱ族の名門で、ここから河童連邦共和国の大統領・副大統領・本部事務局長をだしている。第25回

かっぱサミット（東京・錦糸町、2012年）開催では、出席者の

水遊びをするし、台所の流しにも上つて餌を物色しよる。まさに河童猫です」

河童共和国大統領の田辺達也さんが、白髪

ふさふさの中から覗く童顔を、クシャツとさせ

る。彼の笑顔は、魅力的だ。昔は相当、河童た

らしだったことだろう。

「そぎゃん河童どんも、居らすタイ。河童ドン

たちのベット用小河童で、体長が大人になつて

も三十センチ。名前は確かチイチイカッパちゅ

うて、子供の頃は、日本の童謡に隠れとる。い

つも絵本の五線紙のなかで、雀になつて踊つと

るバイ

ムム、流石は大統領。私も相当なアホだが、咄嗟に童謡を思い浮かべるなんて、只者じゃない。この猫、今は体重三・四キロを越えた。河童ドンのボリボリ（「落語長屋は花盛り」より盗作）、おまけに相撲が大好きだし、猫は水を嫌うとに、誰かが風呂に入ると浴槽の縁に座つて遊ぶアイツがいた。

球磨川の子河童ドンだった……と思ふ。

農薬やダムで水が汚染され、今では河童族も少なくなつたと聞く。水は命なのに。

球磨川の河口にも、潮の干満がある。

僕も満つ潮に乗つて、八代に帰つてきたのだ

と思いたい。決して、都落ちではなかつた、松

岡荒村（明治三十七年没。享年二十六歳。八代

只今！河童ドン。オレオレデライタ！！

おいてけ堀かっぱ村開村20周年祝賀会

檜 東京大使出席



祝賀会で挨拶する河童共和国東京大使の檜逸夫さん



八代の街づくり団体、一同に会し交流会

〈河童通信社・八代発〉火の国未来づくりネットワーク・八代地域ブロック（21団体、リーダー炭尚之さん・五ヶ荘地域振興会）初の交流会が、《和・環・輪・話—わつ！》を合い言葉に、1月21日、やつしろハイモニーホールで開催された。

交流会の主な目的は、《地域づくり団体と地域住民、行政が相互理解、協働、参画するきっかけづくりの情報交換》。「九月は日奈久で山頭火」「彦フェスタ実行委員会」など12団体と県・市の担当職員が参加した。

河童共和国から田辺大統領、萩本首相ら8名が出席して交流。午前の全体集会（活動報告）で田辺大統領が発言。午後の分科会では第4分科会（河童と水環境）のまとめを坂口文化相が発表した。福島歴史民俗担当相はチェンソー仕上げの木彫河童と荒瀬ダム撤去（日本で最初）に励む住民群像（陶芸の逸品）を出品して注目された。



おいてけ堀の河童像に勢揃い
—関東・東海の河童族



台北かっぱ村 創立20年 記念式典 盛会裡に終わる



全日程におつき合いいたいたい台北かっぱ村の重鎮 林錦松さん(左)と王安南さん

16日 台北かっぱ村・林錦松さん(第2代村長)の案内で、台北市の古い街並み(老街)を散策。台北国際ホテルで日本かっぱ族代表団の歓迎会へ。

17日 バスで淡水河河口左岸(新北市八里地区の環境保護センター)に建立された河童渡来の碑を見学。

紹興酒と胡瓜で乾杯。午後、対岸の淡水地区へ。17世紀、スペイン人築城のサント・ドミンゴ城見学など旧市街を遊覧。この後、淡水魚人埠頭大飯店で開宴の台北かっぱ村20周年記念パーティに臨んだ。

18日 王安南さん(台北かっぱ村村長)と林錦松さんの案内で、台北市から車で南へ約1時間、廟宮建築の古都《三峡(サンシャー)》と陶磁器生産の発祥地《鶯歌(インクオ)》を訪問。三峡では清水祖先師範廟へ参拝。民権老街といわれる門前市の賑わいを楽しんだ。鶯歌では県立陶磁器博物館を見学した。

台北かっぱ村開村20周年記念パーティ出席の河童共和国代表団



台北かっぱ村の記念行事に参加した日本の河童族 廟宮建築の古都《三峡・サンシャー》を訪問



写真で見る台北かっぱ村と河童共和国の交友!

■1998年、吳景聰さん(台北かっぱ村初代村長)、第6回九州かっぱサミット・水(熊本県)出席のため来代、栖本(八代)代表団と一緒に天草へ。
■1999年、吳村長、かつて大学公開講座(八代)出席。河童共和国から河童芸術大賞をおくる。

■2003年、林錦松さん(第2代村長)、第3回世界水フオーラム在京都の分科会(河童と語るセッション)で河童と交流の口マン・河伯(カツペ)淡水河一球磨川渡來說を発表。

■2004年、台北かっぱ村代表団11名、八代河童渡來の碑でさわのジャパンボルダード(河童像)で、台北かっぱ村代

■2004年、台北かっぱ村代表団11名、八代河童渡來の碑でさわのジャパンボルダード(河童像)で、台北かっぱ村代

■2009年、台北かっぱ村代表団4名出席。和建新立國土除幕式里淡水河(右端)の河童共像

河童共和国と台北かっぱ村との交流



2004年 台北 国際河童サミットin台北

■2004年、林錦松村長ら、台北かっぱ村代表団11名、八代河童渡來の碑見学。河童共和国から林村長へ河童文大賞をおくる。河童共和国から林村長へ河童文大賞をおくる。

■2010年、台北かっぱ村代表団4名出席。和田議長、台北かっぱ村の名前登録。村民に登録。田辺官房長官、八代の郷土誌「夜志呂」に《淡水河》を発表。■2012年、台北かっぱ村代表団4名出席。和田議長、台北かっぱ村の名前登録。村民に登録。田辺官房長官、八代の郷土誌「夜志呂」に《淡水河》を発表。

■2005年、河童共和国から河童芸術大賞をおくる。

■2009年、台北かっぱ村代表団3名出席。田辺官房長官、サミット本会議で講演。長

■2010年、台北かっぱ村代表団4名出席。和田議長、台北かっぱ村の名前登録。村民に登録。田辺官房長官、八代の郷土誌「夜志呂」に《淡水河》を発表。

上田さんの

《高田ミカノの来た道》

県民文芸賞に



果樹研究所所長時代の上田実さん
(1997年、デコポンのハウス栽培)

上田実さん(河童共和国国民、68才、熊本市在住)の労作『高田ミカノの来た道』(50枚)が第32回熊本県民文芸賞(評論・ノンフィクション部門)第2席を受賞した。前(31)回受賞『八代水軍に魅せられて』につづく荣誉称号。本賞は県文化懇話会、県教育委員会、熊本日日新聞社など6団体が主催する熊本県芸術文化祭に応募の作品(小説・評論・俳句など7部門)から選ばれている。

上田さんは熊本県果樹研究所に11年在籍して柑橘(かんきつ)栽培の研究に携わった元県職員である。

柑橘類の元祖といわれる中国の小ミカンが、八代の高田郷へ、いつ、どのようにして持ちこまれたのか? ミカンに対する原始、人の想念と対応はどうだったか? 高田ミカンの苗木がなぜ紀州和歌山へ伝わったのか? などをライフワークに、県庁退職後も調査研究をつづけて5年、文献資料の収集は、歴史学・植物学・民俗学から、近年の日中共同研究の科学的知見(DNA解析)まで広範多岐にわたっている。

柑橘の渡来と広がりについては、古代中国楚の詩人屈原の楚辞や魏志倭人伝に

始まり、田道間守(たじまもり)・神后皇后・不知火海のツグ島(ツグは「接ぐ」ツグ島はツク島—築島へ異邦人来訪と接木)など高田ミカンにまつわる伝承説話からの接近。高田ミカン紀州への伝播の背景には戦国時代の調略秘話など多彩。博覧強記で鳴る人だけに滑らかな筆づかい、楽しい読みものになっている。

結論として、高田ミカンは中国江西省原産の「南豐蜜橘(なんぽうみつき)、中國語読みではナンフェンミチー」に由来すること、寒冷を嫌う小ミカンの性質から「苗木の移動は中国江南の海人によつて、大型船で直接八代に持ちこまれた」と。

著者は本論を書き終わって、「特に古代、いち早く海外に開けた八代にロマンと余所にない大陸的な魅力を感じた」と述べている。ミカン源流の里・ヤツチロ再発見で、河童渡来伝説『オレオレデライタ』や妙見亀蛇(がめ)さん物語とも重なってわくわくする。

本文は他の入選作と一緒に出版されるという。八代市教委と地元の文化団体が共同して上田さんのお話を聞く集いを開催したらどうだろうか。(田辺達也)

台北の河童像と台座の碑文 河童渡来の新伝説

河童渡来の新伝説

台北市(人口約300万人)を貫流し、台湾海峡に注ぐ淡水河は流路158.7km(球磨川の1.38倍)、流域面積272.6km²。大きな支流は大漢渓など6つある。河口の港町・淡水鎮(現、新北市淡水地区・人口約12万5千人)は20世紀初頭まで、台湾最大の貿易港として繁栄し、台北の海の玄関口の役目を果した。「東洋のベニチア」にたとえられ、「風がここちよく夕日が驚くほど美しいところ」と賞賛されている。

この碑文は、台北かつば村第2代村長林錦松さんが、第3回世界水フォーラム(みやこメッセ)第2セッション(京都精華大学)で発表された、海の道による国際交流・文化往来のロマン(河童の求愛)がベースになっている。林さんは、国際河童サミット(台北04年の冒頭演説、第23回河童サミットin長野(10年)の記念講演(河童の心)でも、水と愛を求めて淡水河を出発した若い河童が球磨川の美女と結ばれて、大型船で直接八代に持ちこまれた」と。

河童のもの名前は河伯(アヘン)で、古代中国の河北から福建経由で台湾の方言で「河阿伯」(アボウ・モウ)と呼ばれており、一種の可愛い動物のよみです。その後、日本九州市の球磨川にたどり着くことについて、「河童」(アボウ)と呼ばれるようになりました。河童は人類と親しみ、河川の中の生きいの水質に頼つて生きていました。人々は河童を生きてのいる河と親しみ、河川の中の環境浄化のシンボルと見なし、河川の生きました。私たちは河童との命でもあります。そして人類の生命の源でもあります。私たちの環境を守つてこそ、人類の持続可能な発展のための生活環境をつくることができるのです。それが生きる道です。

2009年、台北かつば村の肝いりで

淡水河河口左岸(新北市八里地区)に河童像が建立され、内外の代表が参集して盛大な除幕式が行われた。河童像1.3m・台座1.5m、計2.8m。モニュ

メントの台座に「淡水河の河童(カワペ)

が、姫祖(中国江南地方や台湾の沿海域で敬愛されている海の女神)の援助を得て、九州の球磨川へたどりついた」という説話が要約して刻まれている。

球磨川(八代)と淡水河(台北)のえにし

この碑文は、台北かつば村第2代村長林錦松さんが、第3回世界水フォーラム(みやこメッセ)第2セッション(京都精華大学)で発表された、海の道による国際交流・文化往来のロマン(河童の求愛)がベースになっている。林さんは、国際河童サミット(台北04年の冒頭演説、第23回河童サミットin長野(10年)の記念講演(河童の心)でも、水と愛を求めて淡水河を出発した若い河童が球磨川の美女と結ばれて、大型船で直接八代に持ちこまれた」と。

河童のハ代渡来については、中国・リネシア・中央アジア・ヨーロッパなどいろいろな説が語られているが、多ければ多いほど球磨川と八代の魅力は輝いて面白い。河童共和国田辺大統領は04年、台北・国際河童サミットの講演(04年)、つづいて、八代史談会誌147号(05年)へ「淡水河」を発表して林説に工具を送っている。林錦松さん

台座脇に刻まれた碑文の日本語訳(写真参照)



河童共和国名誉大統領
河童連邦共和国名誉顧問

福田瑞男さん



- 1988年4月 芳子夫人と一緒に河童共和国の国民に。
1989年 河童共和国国立かっぱ大学初代学長。1回公開講座で講師をつとめる。
1990年 第2代首相就任
1996年 第2代大統領就任
2005年 名誉大統領就任
2012年7月12日死去、90才

初代環境庁長官

松田雄二さん



(写真/第1回河童サミット・やつしろ出席の松田さん 1988年 右側)

- 八代市役所職員の市民部長時代、八代の公害問題に積極的に取り組み、1988年5月、河童共和国の国民に。同年8月、第1回河童サミット(八代)出席。かっぱ大学公開講座へ第1回(89年)から常時出席。1990年、初代環境庁長官に就任。身障者問題や地域振興にも力を注いだ。2012年4月24日死去、83才

懐俳写
か人真
しい春球
古光磨
老寺川
の花河
顔脣口
がさん、
がみえ
る。詞岸
1家・河
1997年
小長野渡
来の力
ス工の河
さん、敷
河童共
和國議
長・杉
田義光
さんには

河童サミット第1回(八代・1988年)から第19回(米子・2006年)まで参加。

九州河童サミット第1回(若松・1993年)から第15回(相良・2009年)まで出席。この間、第3回(八代・1995年)を主催国大統領として成功させた。

荏柄天神の河童筆塚まつり(鎌倉)、全日本河童サミット(盛岡)、第3回世界水フォーラム(京都)、銚子かっぱ村(銚子)創立20周年記念・大利根かっぱフェスタ、龍ちゃんのカッパ館(焼津)オープニング、日本橋かっぱ村開村15周年セレモニー(東京)、ふるさと浦安かっぱ村(浦安)開村5周年祝賀会へ。

中川与一・大野芳さん(作家)の『かっぱ村』とのつき合いも深く、かっぱ村発足20周年記念式典(東京)・同30周年記念行事(遠野)に出席。

このほか水郷水都全国会議(柳川・1989年)を皮切りに、水環境・公害研究の学者と交流を深めた。歴史と民俗では、熊本地名研究会や八代史談会で活動、史談会誌「夜豆志呂」の挿絵も長年担当した。エッセイストとして、八代の文芸同人『日奈久ベンククラブ』の会長を1959年以来50年以上つとめた。

功績により、河童連邦共和国本部から『文化勲章』と学位『河童学博士』を授与された。

地元熊本県では、1999年、熊本日日新聞社から『熊日ひのくに応援大賞(河童共和国・団体表彰)』。2000年、第23回信友社賞(個人表彰)。2003年、熊本県文化懇話会表彰など受賞あまた。

河童族の墓碑銘

熊本学園大学前教授、
医学者・臨床医、作家

原田正純さん



(写真/第16回大佛次郎賞受賞の祝賀会 1989年、熊本)

胎児性水俣病の発見で著名な中毒学の国際的権威。水俣学の提唱者。

1989年9月、河童共和国へ入国。

水郷水都全国会議(柳川・久留米)で共同、成功させた。

著書『水俣が写す世界』で大佛次郎賞、『水俣、もう一つのカルテ』で熊日文学賞。東京弁護士会人権賞。このほか環境関連の受賞数多。

2012年6月11日死去、77才。